

テスラさんはイタズラしたい！

じゅっぴー

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

これはコンパスハウスでテスラさんが他のキャラ達にイタズラをする話です！

目次

その1最初のターゲットはルチアノ	1
Voidoolへのイタズラの成果報告その1	4

その1最初のターゲットはルチアアノ

テスラ「バトアリで罫使って妨害するのもいいけどやっぱり人の驚いた顔を見たいんだよな」

と天才発明家であるテスラは考えていたそこに

Voidooll「ナラトクベツニココデモカードノシヨウヲキヨカシマシヨウカ？」

とこのコンパスというシステムの管理人口ボVoidoollが言う

テスラ「うーんそれはありがたいけどやっぱり僕の発明で驚かせたいな」

と返すとVoidoollはソウデスカナンカヒツヨウナモノアレバイツテクダサイネと言ひ残しその場を去った

テスラ「さてとまずはターゲットを探さなきゃね」

といいイタズラターゲットを探していたらリビングに1人の男がいたテスラはその男にバレないように隠れて見ていた

ルチアアノ「銃が壊れた…これでは仕事どころかバトルもできないではないか(;;)」

と殺し屋のルチアアノが柄にもなく泣きながらこぼしていたのであつたそれを見たテスラは

テスラ「そうだこういう時こそ僕の発明の出番だねと」ニヤニヤしながらとある場所に向かった

Voidooll「オヤ？テスラサンナニカゴヨウデスカ？」

テスラ「うんルチアアノの銃の設計図ってある？」

Voidooll「モチロンアリマスヨイマカラダシマスネ」

と言ってVoidoollはコンピュータを操作し1本のUSBメモリを取り出した

Voidooll「コレガルチアアノサンノジユウノセツケイズデスドウゾ」

テスラ「ありがとうVoidooll！」

Voidooll「イエイエソレヨリモドウヤライタズラノターゲット

トハミツカッタヨウデスネ」

とVoidoolはなんか笑顔？で言う

テスラ「うんまあ今回はイタズラ兼手助けだけどねー」

Voidool「フフフソウデスカワタシモソノセイカキナリマス」

テスラ「終わったら教えてあげる」

Voidool「タノシミニシテイマス」

と言ってる間にテスラはもういなかった

Voidool「ニンゲンハイタズラガスキデータコウシンシトキマシヨウ」

テスラ「よーまずはルチアーノの銃をこれの通りに作って」

テスラ「完成！」

その間なんと30分はやいはやいぞいくらなんでもはやすぎる↑主が作るのが下手なだけである

テスラ「(*ΦωΦ) フフフ…ここからが本番だ！」

とイタズラの部分も完成させルチアーノの所へ向かった

ルチアーノ「ああ妻よわたしはもうどうしたら良いのだ仕事もなくバトルにも行けない私に存在価値はあるのか(…;)」とまだ泣いていたというより悪化している

テスラ「ルチアーノプレゼントあるんだけど受け取ってくれる？」

ルチアーノ「私にプレゼント？今日はなんかあったか？(…;)」

テスラ「ううん今日は何も無いよ」

ルチアーノ「なら何故私にプレゼントを？(…;)」

テスラ「それはねルチアーノが散々泣いてるから銃を作ったんだー」(おそらく泣いていたの3時間である)

ルチアーノ「?!それは本当か！」

ルチアーノはさつきまで泣いていたのが嘘かのように泣き止んだ

テスラ「はいこれ」

ルチアーノ「おおこれはわたしが使い慣れてるやつだなありがとう感謝する」

テスラ「たまには人の助けになるイタズラもいいかな？と思ってね

想定以上に喜んでくれて嬉しいよ」

ルチアーノ「そうか本当にありがとうおそろくお前がくれなかったら妻の元に走っていたかもしれない」

テスラ「本当にそうならなくてよかった(？▽?；)」

ルチアーノ「新しい銃を早速試しに行つてくる」

テスラ「行つてらっしゃいなんか不備とかあつたら言つてね?」

ルチアーノ「ああ本当にありがとう」

テスラ「まあ今回はいいイタズラしたかな?」

Voidoollへのイタズラの成果報告その1

Voidooll「テスラサンオハナシガアリマス」

テスラ「何かな？Voidooll」

とVoidoollの呼びかけにテスラは応じた

Voidooll「センジツアナタガヤツタイタズラカノセイカヲオシエテクダサイ」

テスラ「あーそういえば終わったら教えてって言ってたね」と返すとVoidoollは

Voidooll「モシカシテテスラサンワスレテマシタカ？」

テスラ「そ、そんなわけないよ」

(嘘であるこの男の娘完全にルチアーノからのお礼で浮かれていたのだ)

Voidooll「ソウデスカナラオシエテクダサイ」

テスラ「いいよ」

テスラ「今回のターゲットはルチアーノだったよ」

Voidooll「ナルホドダカラセンジツワタシノトコロニセツケイズラモライニキタノデスネ」

テスラ「そういうこと要は人助けに近いイタズラだね」

Voidooll「タシカニテスラサンガセツケイズトリニキテソノイチジカンゴニルチアーノサンガウレシソウニバトルシテタノハソウイウコトデシタカサイキンミカケテナカツタノデシンパイハシテマシタ」

テスラ「Voidoollルチアーノの銃壊れてたらしいよ？」

Voidooll「カピツソウダツタンデスカ！カンリニントモアルコノワタシガキツカナイナンテフカクデスネ」

テスラ「そうなんだよまあ少し表情暗くしてただけだからね」(嘘であるテスラはルチアーノが少なくとも3時間は泣いていることを知っている)

Voidooll「ナルホドソレデジュウノセツケイズノデバンデシタカ」

テスラ「そういうこと（*☒ω☒*）？ グッ！」

Voidooll「ソレハイイイタズラデシタネ」

と話していたら話題のルチアーノが来た

ルチアーノ「どうしたのかわたしの話をしているようだったが」

Voidooll「テスラサンガシタイタズラノセイカヲキイテイマス」

ルチアーノ「あの銃かとても使いやすい何より威力が上がってない
とはいえ以前より制度がしっかりしている」

テスラ「うんルチアーノの銃に仕込んだイタズラはまさにそこルチ
アーノが壊れた銃使ってたから攻撃力上がらない程度に強化したら
制度しかなかった」

Voidooll「ナルホドダカラルチアーノサンノステータスヘン
カシテナイノニツヨクナツタトオモエタノデスネ」

ルチアーノ「わたしがバトル行つた時確かVoidooll敵側にい
たもんな」

テスラ「後さルチアーノやっぱりこれは受け取れない」と前回ルチ
アーノからお礼として高額を受け取っていたがテスラはあくまでも
イタズラとしてやったのだ受け取れるわけがない

ルチアーノ「ふふふお前は何か勘違いをしているな？」

テスラ「どういうこと？」

（ナレーターでも言ってることがわからない）

ルチアーノ「お前はイタズラとしてわたしに新しい銃を作りそれを
くれただがそれが無ければわたしは今ここにいない要はわたしから
のこんな優しいイタズラしてくれてありがとうと言うお礼の額だ受
け取ってくれ」

Voidooll「ルチアーノサンガコウオツシヤツテルノデスカラ
ウケトツテモヨイカト」

テスラ「わかったありがたく受け取らせてもらうよ」

ルチアーノ「ではわたしはバトルに行ってくる」

テスラ「行ってらっしゃい」

Voidooll「イタズラハダイセイコウデスネ」

テスラ「うん成功してよかった」

Voidoll「フフフデハワタシハカンリニンノシゴトニモドリ
マスネ」

テスラ「はいまたイタズラする時頼るね」

Voidoll「フフフオマチシテマスヨ」

というやり取りを影からとある3人組が見ていた

マルコス「テスラもあんなイタズラするんだね」

リリカ「リリカとっても感動した」

ルルカ「ええ感動はしたけどマルコス君リリカから離れてね？」

マルコス「はいすいませんでした」

リリカ「うーんマルコス君近くにいる欲しいな」

マルコス、ルルカ「リリカ（ちゃん）！」

リリカ「ダメかな？（；；）」

ルルカ「えつとそんなことないわよ」

マルコス「僕も近くに居ていいなら居たいな」

リリカ「やったリリカ嬉しい！」

（嘘である実はこのリリカはルルカのリリカへの執着以上にマルコスへの執着がすごいのだ）